

長浜港の港湾整備と地域の拠点づくり

問 長浜港の港湾整備と第3次開発事業は一体のものとして引き続き継続して事業を推進していくことが重要であると考えますが今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

答 この事業は昭和28年7月に地方港湾の指定を受け、県管理港湾として整備が進められてきました。

旧長浜町では総合的なまちづくり計画の核として昭和62



着々と整備が進む長浜港小型船だまり

年の町議会で第3次開発事業基本計画の特別決議により、現在まで事業が進められてきており、新大洲市でも重要施策の一つとして取り組んでいくところです。

現在、事業の一環として小型船だまりや一文字防波堤の整備、拓海工業団地への市道整備等が行われていますが、この事業で公共用地の確保や物流機能の拡充を図ることに より、産業基盤の整備や港湾及び市街地が一体となった、快適で活力ある地域形成につながるものと考えています。

今後、これまでの事業の一層の促進について関係機関へ強く要望していくとともに、企業の誘致や長浜水族館の検討など鋭意取り組んでいきます。

産業構造の転換

問 公共事業に依存しない産業振興の取組について伺いたい。

答 現在国・県、市などによる事業費は、道路、橋梁関連事業費等で比較すると平成7年頃の約40%となっており、特に公共事業に依存度

の高かった会社ほどその反動が来ています。

それぞれの事業所においても善後策を講じておられ、市としても経営革新について何らかの支援をする必要があるのではないかと認識を持っています。

また、地域課題の整理と自立促進を検討する中で、地域の歴史文化や自然、町並みなどの資源を十分見直して地域づくりができないかなど、住民の皆さんからの発想やご意見をいただいております。

高齢者向け優良住宅制度導入

問 国の法律に基づく民間活力による高齢者向け賃貸住宅建築支援について伺いたい。

答 この事業は、高齢化社会の急速な進展に伴い増大する高齢者の単身及び夫婦世帯の居住の安定を図るため、民間活力等を活用して高齢者に対応した設計、設備などを備えた賃貸住宅の整備を促進するもので、実施にあたっては、目的に沿った計画をたて、

県知事の認定を受けて住宅の整備や管理をする場合、その費用の一部及び家賃の減額に関する費用を補助するものです。

しかし、この事業実施により、介護保険料の上昇となる可能性があるなど、財政圧迫の原因となることも危惧していますので、平成18年度策定予定の住宅マスタープラン等との調整を図りながら将来を見据えた住宅政策の一環として総合的に検討をしていきたいと考えています。

生活習慣病予防

問 生活習慣病予防の取組について伺いたい。

答 生活習慣病予防の啓発については、合併前の計画を新大洲市の計画として見直したダイジェスト版を、昨年12月に全世帯に配付したところ です。

今後は「健康日本21」大洲市版の基本目標を基に、生活習慣病の発症に深く関わる栄養、食生活と全身の健康に影響する歯や糖尿病など10項目を基本とした取組を行いたいと考えており、その中で、歯

科検診に関する節目検診を平成16年度から実施しています。また平成18年度からは介護保険の地域支援事業による口腔ケアが追加となり、歯周疾患予防に重点的に取り組んでいきます。

生活習慣病を予防するためには、市民の主体的な健康づくりへの取組と、生涯を通じて継続的な健康管理が必要ですので、関係機関、団体、市民の皆さんのご協力をお願いします。

市立大洲病院の小児科

問 大洲病院に小児科の常勤医師を確保し、入院もできるような充実が図れないか伺いたい。

答 当病院の小児科は、現在地に移転した直後の平成7年6月に再開し、愛大医学部より常勤医師の派遣を受けて診療を行っていましたが、平成16年8月の常勤医師退職以降は、週2回の診療となり、さらに昨年4月からは週1回の診療となっています。

このことから、愛大医学部に対し引き続き常勤医師の派遣をお願いしていますが、小児